

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年1月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104373
法人名	社会福祉法人 恵会
事業所名	グループホーム はっぴー (B棟)
所在地	鹿児島県鹿児島市下福元町9558番地27 (電話) 099-262-5505
自己評価作成日	令和5年1月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①A棟・B棟自由に行き来でき、ご入居者様・職員と交流を持ち楽しんで生活できるようにしている。
- ②誕生会・季節の行事の際はA棟・B棟合同で行い楽しんで頂いている。
- ③2カ月に一回はっぴー便りを作成し居室やホーム内に貼り話題のひとつとしている。
- ④毎月ご家族様に連絡表を送付し各居室担当や看護師の立場からご入居者様の状況・状態をお伝えしている。
- ⑤花や野菜をご入居者様と育てて季節を感じて頂いたり収穫の喜びを感じている頂いている。
- ⑥ホーム周辺や駐車場の散歩等楽しんで頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関口に掲示して意識して観るようになっている。理念を念頭に入れて言葉かけにも気をつけるようになっている。		
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で法人全体の三大行事及び外出の機会も減り、他者との交流も難しくなっている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方の見学や相談、問い合わせ等を受けている。認知症については日々ご入居者様の行動や言動を観察し、外部研修に参加し知識を高めながら地域の方に向けて生かしている。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催している。コロナ禍で延期や出席者数を制限させて頂きながら、ご入居者様のご様子など直接顔を合わせお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5		<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>年々生活保護受給者の方が増えて以前より密に連携をとるようになった（書類提出や医療連携等）</p>		
6		<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の研修を通し、職員一人一人が意識してケアを行い、拘束について疑問点などその都度話し合うようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に勉強会を行い意識を持ってケアを行っている。不安な点は職員間で確認を行うようにして虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在成年後見人を利用されている方がおられるが、制度について具体的な勉強会が行えていないので今後、職員の理解度を高めるよう勉強会を行っていききたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご家族様、ご入居者様が不安にならないよう説明は十分に時間をかけて行い、確認、納得して頂いている。改定時には都度説明し承諾を頂いている。</p>		
10		<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議や面会時に意見や要望を気軽に言える雰囲気作りを行い、玄関には意見箱を設置している。ふとした話からご家族様のお気持ちなど知ることができる。年1回のご家族様とご入居者様にアンケートを行っている。</p>		
11		<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議、朝の申し送り時など個人の意見や提案を気軽に言える雰囲気作りし反映している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の人事考課を実施、上司との面談を行い職員の意向や相談を受けながら仕事への取り組み等指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍で集団研修参加は控えているが、オンラインでの研修会の参加を勧め、個々のケアに対する意識向上に努めている。</p>			
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入しており研修会、勉強会に参加するようしている。はっぴー園グループ内他事業所の職員を交えた会議で意見交換棟行いコロナ禍による人員不足のケア協力で交流を深め、サービスの質の向上をさせていく取り組みをしている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前にご家族様からいただいた「基本情報」や「暮らしの情報シート」を参考にして、情報を共有し話しを傾聴、思いやりのある声かけ、話やすい雰囲気を作り安心して生活が出来るようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	現在、コロナ禍のため見学や直接の面談が難しいため、電話やオンラインでの面談時では、笑顔を心がけ、声のトーンに注意して相手が安心して話が出来るように、ゆっくり落ち着いて対応している。担当のケアマネ、管理者、職員が情報を共有し全職員に周知し統一したケアを行いご家族様、ご入居者様との信頼関係を築いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時にはご入居者様やご家族様の要望や今までの生活の情報を収集し、有料散髪やマッサージ、買い物等の支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様のさりげない一言に「人生の先輩」であることを改めて痛感し、勉強になることがあります。感謝をお伝えしながら日常生活を安心して過ごせるよう支え合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会になかなか来られないご家族様には、定期的に電話連絡を行い、現状のご報告と相談を行っている。</p>		
20		<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍の為、外出、面会に制限があるが、事前に予約をしていただき面会の時間を楽しんでいる。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>コロナ禍により、誕生会、行事、レクリエーション等規模を縮小して行っていますが、できるだけ入居者様が孤立しないよう、環境づくりを行い、職員はご入居者様へこまめに声かけしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>母体の特養やショートステイに移動された時は職員間で情報交換や連携を図っている。ご入居者様の様子等を見に行き安心できる声掛けを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で気づきを大切にし、職員間で共有している。言葉で伝えられないご入居者様には表情や簡単な質問で察するようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	気づいた点は、その都度申し送りにて、情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者様の日々の生活の中での変化の気づきを大切にし、ホームでの生活を継続できるよう、できる事、以前よりできない事を職員が把握し支えていけるよう努めている。		
26		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティング・処遇会議でご入居者様の気づきを介護職・看護職が意見を出し合いご入居者様がより良く生活できるように努めている。主治医の定期往診を通して医療連携も取れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ご入居者様の言われた事を具体的に記録する事で職員間の情報共有を図り、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院が長引くようであれば、その都度、ご家族様に相談し対応するように努めている。退院後、特養のショートを利用できる等説明を行うようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍のため、外部との接触はほとんどなかったが、訪問有料散髪を定期的に行い、ご入居者様の皆様が参加してホームの日常と違う雰囲気を楽しむことができている。</p>		
30		<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご入居者様、ご家族様が安心する主治医となっている。看護師によりご入居者様の状態や状況を主治医に随時伝え情報共有に努めている。また記録を取って残している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に異常や変化があった時は職員間で申送りを行い、異常の早期発見に努めている。また主治医の指示の元、訪問看護も利用している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>看護師がご入居者様の主治医と情報交換を定期的に行っている。ケアプラン等必要な情報提供を行い、退院時にはカンファレンスに参加し状態を把握することで、職員共に統一してケアに努めている。</p>		
33		<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にご家族様へ説明行い意向を確認している。看取りを希望された場合終末期のあり方等ご家族様、主治医、介護職員で話し合い同意を得た上で受け入れている。ご入居者様はもちろん、ご家族様に寄り添ったケアも心がけている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを目につく場所に置き慌てずに対応するように努めている。園内・外研修等の参加や勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35		<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>全部所合同で消防署立会のもと、消防訓練、避難訓練、通報訓練等を行っている。災害時のマニュアルを作成し、会議等で職員が再確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36		<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ご入居者様ひとり一人の価値観や個性を尊重した、声掛けや対応を行っています。また、ご入居者様同士のトラブルを避けるために、相性や状況にも気を配り席を決めています。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常会話やご家族様からの情報を基に、本人の希望になるべく沿うようなケアを心がけています。また、ケアを行う際は本人の意思を一番に考えた声掛けを行っています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご入居者様の体調や睡眠状況を考慮したケアに努めています。体調がすぐれない時は看護師と連携し、不安なく過ごして頂けるよう努めています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍で外出やご家族様と会う機会が減っていますが、着替えの際は、自分の着たい服を選んでもらい、おしゃれにも興味を持ってもらえるよう努めています。</p>		
40		<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ご入居者様の食事摂取状況に合わせた、(普通食・刻み食・ミキサー食・トロミ)食形態で食事を提供しています。食後は、お盆拭き等、後片付けを一緒に行っています。また、管理栄養士による栄養指導も受けながら、食の楽しみを提供出来るよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事摂取量や水分摂取量を記録に残しています。足りない場合は、好きな飲み物や、高カロリー補助食品等にて、栄養確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時や毎食後に、声掛けや介助にて口腔ケアを行っています。夕食後は、義歯洗浄剤を使い義歯の管理や清潔の保持に努めています。治療が必要なご入居者様は、歯科医との連携にて治療やアドバイスも受けています。		
43		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食前、食後の声掛けや定期的なトイレ誘導を行うことで排泄を促しています。 尿意・便意が維持できるよう、訴えがあった際はすぐ対応できるよう心掛けています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便コントロールが出来ていないご入居者様は、食物繊維の多いおやつや、水分を多く摂ってもらったり、腹部マッサージを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45		<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>週2回の入浴ではありますが、入浴前は体調チェックを行い、浴槽に入られるか、シャワー浴が希望かの確認し入浴して頂きます。また、プライバシーへの配慮もしながら、入浴を楽しんで頂けるようコミュニケーションを取りながら進めています</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ご入居者様の希望に応じて、部屋やホールにて過ごして頂いています。空調完備にてゆっくり出来る環境となっています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>投薬は職員2人で、ご本人の名前を確認し行っています。内服薬の種類や目的に関しては、一般的な薬は理解していますが、すべては理解できていません。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>塗り絵や体操、歌、ボールゲームなど、みんなと一緒に楽しんでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍で外出が思うように出来ない現状ですが、季節を感じてもらえるよう草花を植えたり、敷地内の桜を見たりして過ごしています。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご入居者様でのお金の管理はしていませんが、職員管理の下で、個人的な買い物については出納帳にて管理しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族からの電話の取り次ぎや、ご入居者からの要望があれば、こちらからご家族様へ電話して話をしてもらっています。</p>		
52		<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の草花やレクリエーションでご入居者様と一緒に作った飾り物を、玄関や食堂に飾り見て楽しんでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂では気の合ったご入居者様を隣の席に座って頂いています。</p> <p>また、廊下や食堂にソファを置きいつでも好きな時間に自由に座って頂いています。</p>		
54		<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、ご家族様の写真や馴染みのものやご自分で塗られた絵・カレンダーを飾りゆっくり過ごして頂いています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車いすで自由に動けるだけの空間と、1人ひとりのADLを把握した上で必要なケアを提供するよう心がけています。敷地内は平坦で天気の良い日は散歩する事でストレス解消となっています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない